

第1学年2組 学級活動（3）指導案

指導者

1. 日時・場所 令和5年11月15日（水）13時30分 ～ 14時15分 1年2組教室

2. 題材 「にこにこ2くみ かがやくきょうしつ」
（イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解）

3. 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生活するために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて進んで行動しようとしている。

4. 題材について

（1）児童の実態

学級目標については担任と子供たちで一緒にどんなクラスにしたいかを考えるようにした。話し合っ中子供たちから出た、「一人一人が笑顔で輝けるようなクラスになりたい」という思いを大切にしながら設定した。学級目標を掲げ所にして、うまくいったことは目標に繋げて価値づけたり、クラスの課題となるところが見えてきたときには、「それって学級目標に近づけている？」と問いかけたりして、学級目標を意識して取り組んできた。本学級は明るく元気な児童が多い。入学してから朝の支度や給食の準備片付け、清掃の仕方を6年生に教えてもらうことが多かったが、その中でできるようになったことに成就感を味わい、できるようになりたいと思いをもち取り組める児童が増えてきている。言われたことに対して一生懸命取り組む児童が多いが、自ら何かを決めたり、考えて行動したりすることには課題がある。

学級活動（1）「おわかれしゅうかいをしよう」では、夏休み前に転校してしまう児童のための集会を開いた。笑顔でお別れできるには何が必要かを考え、手紙を書いたり、花飾りを折り紙で作ったりして、協力して集会を開くことができた。学級活動（2）の「あいさつ大きくせん」では、自分たちの日頃の挨拶を振り返り、校長先生や大好きな6年生から日頃の挨拶の様子や挨拶の仕方について教えてもらったことを通して、自分の目標を決めて実践をしている。自分以外の他者からの話を通して、自分のこれからの目標を前向きに設定し、取り組むことが少しずつできてきている。

（2）題材設定の理由

本題材は自分たちのこれまでの清掃の仕方を振り返り、さらにできるようにすることをねらいとしている。清掃活動では、これまで6年生に教えてもらったり、手伝ってもらったりしながら行ってきたが、夏休み明けからは自分たちで行っている。

短い清掃時間の中で一生懸命に取り組むことで、自己の役割を果たしたり、協力して清掃したりすることのよさに気づき、自分たちの成長について見つけ、振り返れるようにしたい。子供たちが頑張りたいと思えるめあてを立て、それを振り返り新たに目標を設定する学習過程を繰り返していくことは集団の中で自分自身をよく見つめることに繋がると考える。

そのため、本実践を通して働くことへの達成感や頑張りを共有しながら、自分の決めためあてを達成しようとする姿や次の課題解決に向かう力を身に付け、今頑張ることの大切さを理解できるようにしたい。

5. 活動の実際

(1) 事前の指導

活動の場	児童の活動	○指導上の留意点	資料	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
朝の時間	・アンケートに答え、掃除について考える。	○今までの学校での清掃の仕方について振り返るよう声をかける。	アンケート (児童の意識を高めるための資料)	☆清掃の仕方について自分の姿を振り返ろうとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉

(2) 本時の展開

- ①ねらい これまでの清掃の様子について振り返り、清掃をすることのよさに気づき、自分に合っためあてを立てて実践できるようにする。

②展開

	児童の活動	○指導上の留意点	・資料	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
導入 つかむ	1. これまでのそうじの様子を振り返って、できていることやがんばっていることを発表し合う。	○アンケート結果をもとに、現在の様子について考えられるようにする。 ○自分の様子や友達の様子を発表したり、ペアで話し合ったりすることで頑張りに気付けるようにする。	・アンケート結果 (児童の意識を高めるための資料)	
展開 さぐる みつける	2. どうしてそうじをすることが大切なのか考える。 3. 輝く教室にするためにはどうしたらよいか話し合う。	○なぜそうじをすることが大切なのか理由を考えさせることでそうじすることの大切さや働くことの意義に気付けるようにする。 ○校務員さんのインタビューの様子をビデオで紹介し、めあてに繋がる根拠を考えるきっかけにする。 ○6年生の清掃する姿からよいところを見つけ、解決の方法を考える。 ○根拠をもとに、自分たちにできることを考えさせる。	・校務員さんのインタビューしたビデオ (ねらいを焦点化するための資料①) ・6年生のそうじビデオ (ねらいを焦点化するための資料②)	☆そうじをすることよさを、理解している。【知識・技能】〈発言・観察〉

終末 きめる	4. これから自分が頑張りたいことのめあてを立てる。	○具体的なめあてを書くよう助言する。 ○めあてを発表し合うことで、全員でクラスをよくしようとする思いをもてるようにする。	めあてカード (実践への意欲付けのための資料)	☆そうじ名人になるために、できることを出し合い、自分に合ったよりよい方法を考え、めあてを立てている。 【思考・判断・表現】 〈観察・学習カード〉
-----------	----------------------------	---	----------------------------	--

③本時の視点

④板書計画

「にこにこ2くみ かがやくきょうしつ」

つかむ

アンケートけっか

1. がんばっていること


2. そうじは大せつですか
はい ○人 いいえ ○人

さぐる

どうしてそうじをするの？

きれいだときもちがいいから。
じぶんもみんなもうれしいから。
じぶんたちがつかっているばしょだから。
ほこりがおおいとびょうきになるから。

こうむいんさんの インタビュー



・まいにちたいへん。
・きれいになると、きもちがよくなる。
・じぶんがんばることで、みんながきもちよくなる。
・みんなでやったら、もっときれいになるとおもう。

みつげる

そうじめいじんになるには・・・

- ・ごみみて、ほうきをはく。
- ・すみのほうもはいたり、ふいたりする。
- ・ものをうごかして、そうじする。
- ・みんなで こえをかけあう。きょうりよくする。
- ・じぶんのしごとがおわったら手つだう。
- ・ほめたり、かんしゃのことばをつたえたりする。

きめる

めあてをたてよう！

(3) 事後の指導

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
授業後から	・めあてを意識してそうじを行う。	○めあてを意識して、友達と励まし合って取り組めるようにする。	☆自分が立てためあてに向かって、自分なりに努力して取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 〈観察・学習カード〉
2週間後 清掃終了後	・2週間自分の取組について振り返りを行う。	○めあてカードを見ながらできるようになったことを友達と喜び合い、今後の意欲へとつなげる。	☆自分の取組を振り返り、今後のめあてを立てようとしている。 【主体的態度】 〈学習カード〉

6 資料

(1) 児童の意識を高めるための資料

①事前のアンケート

(2) ねらいを焦点化するための資料

①校務員さんのインタビュー (ビデオ)

②6年生のそうじの様子 (ビデオ)

(3) 実践への意欲付けのための資料

①めあてカード

にこにこ2くみ かがやくきょうしつ

なまえ ()

そうじをするときに大せつなことをかんがえ、
かがやくきょうしつにするためにがんばることをきめよう。




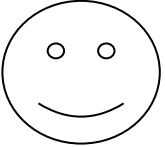
1. かがやくきょうしつにすると どんなよいことがあるかな？

2. かがやくきょうしつにするために じぶんががんばることをきめよう。





(ほうき ・ ぞうきん ・ つくえはこび) で

をがんばります。

3. そうじのようすにいろをぬろう。(ばっちりできた…きいろ もうちょっと…あお)

日	日	日	日
			

ともだちから

日	日	日	日
			

せんせいから